

IV 調査の概要

1 調査のねらい

管理職，主任，学級担任等に対して，教員研修に関する聴き取り調査と意識調査を実施し，その結果を分析・考察することにより教員研修の実態を明らかにする。

2 調査における分析の視点

各学校の教員研修に関わる現実の姿を次の8つの視点から分析し，問題点を洗い出し，実際の取り組みについて考察する。

それらの視点は，中教審答申で求められている「教員の資質・能力の向上を図ること」及び「教員の意識改革を図ること」を受けて，校内における教員研修を中心に設定したものである。前者に関するものとしては，「研修の在り方」「研修の内容」「研修の工夫」を踏まえた5つの視点を，後者に関するものとしては，「研修意識」を踏まえた2つの視点を設定した。

- 指導技術
- 学級経営力
- 教師としての“意欲”
- 研修時間の確保
- 研修組織・体制
- 研究テーマ設定
- 指導助言の在り方
- その他研修についての考えや課題

3 調査の概要

(1) 調査対象

【聴き取り調査】

県内の地域別・校種別・規模別の教務主任及び研修主任

| | | |
|----|------------------------|-----|
| 地域 | 県内各地区抽出校 | 10校 |
| 校種 | 小学校5校，中学校4校，高校1校 | |
| 規模 | 小規模3校，中規模3校，大規模3校，県立1校 | |

【意識調査】

教育センターにおける経験者研修Ⅰ・Ⅱ受講者

| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 計 |
|--------|-----|-----|------|-----|
| 経験者研修Ⅰ | 175 | 168 | 75 | 418 |
| 経験者研修Ⅱ | 277 | 195 | 97 | 569 |
| 計 | 452 | 363 | 172 | 987 |

(2) 調査方法

【調査1】「学校訪問による聴き取り調査」

【調査2】「質問紙法による意識調査」

(3) 調査時期

【調査1】「管理職」→平成8年5月～6月

「主任」→平成9年5月～6月

【調査2】「経験者研修Ⅰ・Ⅱ受講者」

→平成9年5月～11月

(4) 調査内容 別紙資料（Ⅶ資料P31～32）参照